

本校教員に関連する新聞・TV 報道について

今般の本校教員に関連する新聞・TV 報道により、生徒並びに保護者の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様に不安をあたえ、ご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

本事案は、令和5年2月8日に「本校教員が自らに処方され保持していた医薬品を、他人が服用するに至った」というものであり、当該教員による軽率かつ不適切な関与に対し、学校法人として厳重に注意を行いました。

本校としては、本事案の発生を受け、部活動の顧問を含む全教職員に対し、令和5年9月15日及び19日に研修並びに指導を行い、「医薬品の不適切な取り扱い」の再発防止に務めているところであり、今後とも継続して指導徹底を図ってまいります。

また、生徒同士による医薬品の譲渡などによる事故の防止についても、指導を進めてまいります。保護者の皆様におかれましては「学校では、市販薬についても医薬品を生徒に渡すことは原則としてできない」ということをご理解いただき、医薬品が必要な場合は自己管理を徹底するようにご指導、ご協力をお願い申し上げます。

今後とも、教職員一丸となって安全安心な学校づくりを進めてまいりますので、関係者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年3月8日

学校法人北海道龍谷学園
理事長 宮川 英隆

小樽双葉高等学校
校長 倉内 慶一